

グアテマラ

いちおし！

大分発の「オンパク」がグアテマラで羽ばたく！

大分県発祥として知られる一村一品運動(OVOP)と、その発展形であるオンパクを活用して、グアテマラの自治体と生産者が 2 月 21 日、国内西部のサンファン・コマラパ市にて「オンパクフェア」を開催する予定です。

「オンパク」とは大分県別府市が発祥の「温泉博覧会」を発展、モデル化した地場産業振興手法であり、世界的に普及する一村一品運動と連携して実施されます。現在、オンパクに取り組むのは、グアテマラのおエルサルバドルやホンジュラス、タイが挙げられます。

一村一品運動は「ローカルにしてグローバル」「自主・自立・創意工夫」「人材育成」という抽象的三原則を理念化し、地場産業振興、地域おこしの「コンセプト」を担います。一方オンパクは、「住民自身による地域資源の再発見」「参加・分散型見本市の開催」「地域おこしマップ作り」を標榜、一村一品運動を基にした地場産業振興の「具体化」と「ツール化」を果たします。

今回のオンパクフェアは、一村一品運動のパイロットプロジェクト地域に選定されたサンファン・コマラパ市の一村一品運動委員会が企画し、当国で一村一品運動を推進する JICA と経済省(MINECO)が支援して開催にこぎつけました。

同フェアでは、地場産品、伝統衣装の実演、製造体験や、マヤ文明ゆかりの伝統食提供、歴史的建造物や地域に埋もれた資源を再発見する路地裏散策などが企画されています。フェアを支援する経済省一村一品担当官は、「このフェアを通じて地元の住民が地域資源や文化の再発見と価値を認識し、地域アイデンティティの確立と地域特産品の商業化に繋がれば」と期待を込めています。



フェア参加者が伝統織を体験



地場特産の炭火焼きパン



関係者との集合写真